

令和3年度 第16回
我孫子市総合計画審議会
全体会

令和3年12月18日（土）

我孫子市企画課

(全体会)

○事務局

皆様、おはようございます。

定刻となりましたので、進めさせていただきます。

本日の流れですが、この後、9時45分に市長、副市長にお越しいただく予定となっております。それまでの間、事務局から前回まで話があった修正点等、事前にお伝えしたいことがありますので、そちらを進めさせていただきます。

なお、本日は、本来ですと会長に進行していただくところですが、この後の意見交換会が中心となりますので、ご理解、ご了承をいただきまして、事務局で進行を務めさせていただきますと思います。ご協力よろしくお願いたします。

それでは、説明の前に、机上配付させていただきました資料の確認をいたします。

まず、A4、1枚で会議次第、続きまして、左上、ホチキスで1か所留めてあります、前回配付資料からの主な修正一覧、続きまして、冊子になっております我孫子市第四次総合計画前期基本計画(案)、最後にA4、1枚で答申書となります。不足がありましたら、お手数ですが挙手をお願いいたします。

それでは、先ほど申し上げましたとおり、事務局から、まず説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

前回配付資料からの主な修正一覧をご覧ください。合わせて、分野別計画のSDGsについては、冊子の5ページから7ページをご覧ください。

各基本施策に対して、SDGsのどの目標がゴールにつながるかを示した表となっておりますけれども、前回お示したのものから、さらに事務局、庁内で実際に取組が直接的にこのゴールにつながっていくものかどうかを改めて検討して関連づけを見直しております。

こちらについては、一つひとつ細かくは見ていかずに、資料で確認いただけたらと思っております。これまでは間接的にといいますか、ここのゴールにもつながるといように考えられるのではないかというものも入れたりしましたが、今回総合計画ということで、直接的に取組がゴールにつながっているものだけ、関連づけるものとして、総合計画のほかに各分野で個別計画がございますので、そちらで幅広くSDGsの設定を今後していくことになると考えております。

続きまして、修正一覧の7ページをお開きください。分野別計画の施策になります。冊子は41ページをお開きください。

3-1の妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援の施策指標となっておりますけれども、これまで子育て支援センター利用者数を指標として入れておりましたが、令和3年度から、今まで公立4施設あったうち2施設を民間運営という形にしたことなどがあり、開館日数等がかなり変わった関係で、現況値があまり参考にならない数値となってしまいました。そのため指標は、今回の基本計画では外しております。

続いて、冊子の49ページをお開きください。

3-4の心を豊かにする体験・活動の推進ですが、こちらも施策指標、あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合というものと、げんきフェスタに参加した子どもの割合、こちらの目標値が微々たる上昇になっておりましたので、見直しをしまして、これでもどうなのかというところはありますが、子どもが減っている中でできるだけ、現況の来場者数を維持していく考えで設定を見直しております。

続いて、修正一覧の8ページをご覧ください。冊子は56ページ、4-3の商工業の振興の施策指標となります。

こちらは一番下の指標になりますけれども、我孫子市中小企業融資資金制度の新規融資件数については、どうしても運営が厳しくて融資を受けるという場合もありまして、これが増えていけばいいと一概には言いにくいところで、「設備投資に係る新規融資件数」に改めさせていただきます。

続いて、冊子の91ページをご覧ください。

こちらは7-1、生涯学習の推進ですけれども、施策指標の我孫子地区公民館の年間利用率、

それと湖北地区公民館の年間利用率の数値がかなり低かったということで、ここも前回より高い数値に見直しております。受益者負担の考え方ですと、稼働率は70%の設定で算出している部分もありますが、それに比べるとまだまだ低いところですが、部屋によって、会議室などは90%以上であったり、調理室や和室など使い方が限られるところは稼働率が低かったりという現状も鑑みまして、こちらの数値に見直しをさせていただきました。

続いて、冊子の93ページをお開きください。

7-2、歴史文化財の保存・継承と文化の振興、施策の展開内容の部分で、歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図りますとなっております。これまでは、市内の史跡と文化的施設の一体的な活用を図りますとなっておりますが、これについては文化財を指しているということで、文化的施設という言葉は分かりにくいことから修正をしております。

続いて、冊子の97ページをご覧ください。7-3のスポーツの振興です。

スポーツに関しては、これまで審議会の中で多くのご意見をいただきましたけれども、昨今のスポーツの分野では、いろいろな環境の変化やニーズの変化がある中で、課題について1つ付け加えさせていただきます、「市民の生活様式の変化に伴い、健康への関心が高まっていることに加え、ライフスタイルの変化や価値観の多様化により、スポーツの楽しみ方も変化しています。市民のニーズに対応した生涯スポーツの推進を図る必要があります。」という課題を1つ追加しております。

これに伴い、取組につきましても、これまで「障害の有無や年齢にかかわらず誰もがスポーツに親しめるようスポーツ関係団体などと連携し、スポーツの普及活動に取り組みます。」としていましたが、今申し上げた視点を加えまして「障害の有無や年齢にかかわらず誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、スポーツ関係団体などと連携し、スポーツの普及活動とスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。」に修正しております。

続いて、修正一覧の9ページです。冊子は123ページになります。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の部分となります。基本目標2の数値目標ですが、転入者の数を数値目標の指標にしています。こちらにつきまして、目標値は増加を目指すとしていましたが、具体的な数値を入れるべきではないかといったご意見をいただきましたので、近年で最も転入者数の多かった令和元年の数値以上を目指すことで改めております。

続いて、冊子の126ページをご覧ください。

基本目標3、合計特殊出生率を数値目標としております。こちらの目標値も増加を目指すとしていたけれども、我孫子市においても年ごとに増減があるということと、なかなか1つの自治体だけで増加を目指すというのは難しい中で、千葉県合計特殊出生率以上という相対的な目標値とさせていただきます。現在は令和元年度の数値しか出ていませんけれども、我孫子市は1.20、千葉県の合計特殊出生率は1.28ということで、ここ数年、千葉県の合計特殊出生率よりも低い状態が続いておりますので、この目標値とさせていただきます。

最後に、128ページをご覧ください。

基本目標4の数値目標で、こちらも転出者の数を指標にしておりますけれども、目標値は減少を目指すとしていたけれども、転入者数と同じような考え方で、近年で最も少ない令和2年の転出者数以下を目指すとしております。こちらにつきましては、令和2年の直近の数そのまま基準値となっておりますので、これよりも減少を目指すという表現としております。

そのほかに細かい文言や表記の統一などの修正を加えておりますけれども、ここには特に載せておりません。今後さらに見直しをしていく中で修正させていただく場合がありますので、ご了承いただけたらと思います。

それから、全体的な構成としまして、これまでまち・ひと・しごと創生総合戦略がまず基本計画の最初に来ており、その後にSDGs、その後に分野別計画となっておりましたが、構成を見直しました。基本計画の分野別計画が最初に来てほうが良いと判断して、変更しております。SDGsにつきましては、関連づけを最初に持ってこないと分かりにくい部分がありますので、分野別計画の中で取り入れる視点として表記をさせていただきました。分野別計画の後にま

ち・ひと・しごと創生総合戦略というつくりに変えさせていただいております。これまで配った資料と構成を組み替えておりますので、ご了承いただけたらと思います。

○事務局

それでは、次に進めさせていただきたいと思います。

なお、開会に先立ちまして、本日、傍聴人の方はいらっしゃっておりません。その旨、お伝えさせていただきたいと思います。

それでは、第16回総合計画審議会を開会させていただきます。

次第に沿いまして、会長から挨拶をよろしくお願いいたします。

○藤井会長

それでは、座ったままご挨拶させていただきます。

皆さん、おはようございます。

今、私の右側に用意されていますが、こういう日が8か月後に来たところで、当初、難産の様子を呈したこの総合計画の基本計画づくりでしたが、ようやくこういった場に皆様のご協力が得られて、まだ市長にお渡しする前ではございますけれども、今日を迎えられたこと、本当にまず冒頭で、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

これから具体的に市長にお渡しするという形で、市政にこれを反映していただくということになってまいります。そういった中で、今日、事務局で市長と直接意見交換をできる場をまた用意させていただきましたので、皆様方が各人、思いを持ってこれに取り組みまされてこられておりますので、ぜひ時間の許す限り、実のある会議にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。

○事務局

会長、ありがとうございました。

続きまして、次第3に移らせていただきます。

まず、1番目としまして、基本計画（案）に対する答申について、藤井会長、よろしくお願いいたします。

○藤井会長

それでは、答申書につきまして、皆様のお手元にあると思いますが、よろしゅうございませうか。では、こちらを読み上げさせていただきます。皆様方のご了承を得たのち、市長に答申という形にさせていただければと思っております。

それでは、全文、で読ませていただきます。皆様のお手元には日付と会長の名前が入っておりませんが、そこを入れた形で読ませていただきます。

令和3年12月18日、我孫子市長、星野順一郎様。

我孫子市総合計画審議会会長、藤井敬宏。

令和元年6月22日付け、企画第141号「我孫子市総合計画について（諮問）」により諮問された「1. 第四次総合計画前期基本計画の策定」について、我孫子市総合計画条例第10条の規定により本審議会において慎重に調査及び審議した結果、妥当と判断します。

なお、基本計画における各基本施策の実施にあたっては、下記の事項を十分に踏まえ、基本構想の実現に向け推進されるよう要望します。

記といたしまして、1から9まで用意されております。

1. 基本目標1「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」では、市民・地域・行政が連携し、激甚化する災害や新たな感染症などに迅速かつ的確に対応していただきたい。また、子どもたちが安全に生活できるよう、地域の見守りを充実させるとともに通学路をはじめ生活道路の安全対策を進めていただきたい。

2. 基本目標2「誰もが健康で自分らしくともに暮らせるまちづくり」では、地域共生社会を目指すうえで欠かせない、民生委員、児童委員の確保に努めるとともに、高齢化社会の進展に対応できるよう支援の充実を図られたい。

3. 基本目標3「子どもと子育てにათათかいまちづくり」では、支援を必要とする人が必要な支援をうけられるよう周知を図るとともに、地域資源を活かした郷土愛の醸成に努め、心身ともに健やかな子どもが育つ環境を整備していただきたい。

4. 基本目標4「活力あふれにぎわいのあるまちづくり」では、新たな企業の誘致に積極的に取り組むとともに、あびこの活力の源である中小企業の活性化を進めていただきたい。また、手賀沼をはじめとする自然環境や歴史・文化などの地域資源を活かしたにぎわいづくりに努めるとともに、スポーツや各種イベントなどを通じて交流人口の拡大に向けた取組を進めていただきたい。

5. 基本目標5「快適で住み続けたいくなるまちづくり」では、千葉北西連絡道路の進捗を注視し、まちの活性化につながるよう効果的に幹線道路網の見直しを進めていただきたい。また、公園がより市民の憩いの場として活用されるよう、さまざまな取組を進めていただきたい。

6. 基本目標6「人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり」では、地球規模の温暖化や環境破壊を防ぎ、美しい地域を次世代につないでいくため、カーボンニュートラルの実現や環境負荷低減に向けた取組を市民・事業者・行政が一丸となって進めていただきたい。

7. 基本目標7「人と文化を育むまちづくり」では、市民との協働のほか、事業者との連携などの工夫により鳥の博物館などの充実を図るとともに、あびこならではの歴史・文化を保存し、より一層の活用を進めていただきたい。

8. 基本目標8「誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指したまちづくり」では、市民の関心を高め、お互いの違いを認め合い尊重し合える意識を醸成するとともに、多方面との連携に努めていただきたい。

9. 全ての基本施策を進める上で、市民・事業者・行政がそれぞれ役割を分担しながらまちづくりを進めるとともに、多様化する市民ニーズに的確に対応した行政運営を推進していただきたい。また、市内外の人に適切な時期に適切な情報を伝え事業の効果を高めるとともに、市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛の醸成を図られたい。さらに、財源の確保に努めるとともに事業の選択と集中による効率的・効果的な予算配分を行い、持続可能な行政運営を進めていただきたい。

以上。

総合計画審議会の委員の皆の思いをここに込めさせていただきましたので、よろしく願いいたします。

それでは、今、日付と名前が空白ですので署名をさせていただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(委員長署名)

○事務局

ありがとうございます。

それでは、ここで市長から一言ご挨拶いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○星野市長

皆さん、おはようございます。

ただいま第四次総合計画前期基本計画の策定について、確かに答申をお受けいたしました。本当に長い間、お疲れ様でございました。

総合計画全体からすると約3年になりますが、昨年、基本構想をご審議いただいて今回の基本計画まで、非常に長い間、本当にありがとうございます。

無事、基本構想については議決を受け、この基本計画に着手をしていただいたわけですが、いよいよ来年から本格的にスタートをするという状況になってまいりました。

我孫子市のまちの10年前、もう11年ぐらいになりますが、東日本大震災の影響を受けて、大きくまちの状況も変わってきて、これほど大きな震災があったときに、いかに市民の生活を守れるかというのは、我孫子だけではなくて、あちこちの多くのまちで、その見直しを図る必要がありました。特に市民生活を守るためのインフラ整備は、非常に大きな位置を占めていて、我孫子市でも、東西14キロのまちの幹線道路は3本しかなく、その3本のうちの1本が通行止め、1本は狭過ぎてすぐ渋滞を起こしてしまう状況の中で、人や物を運ぶということの大変さ、そしてまた通信網がほとんど動かなくなってしまうと、電話がつながるのが早いか、伝令が到達するのが早いかというぐらいの状況を体験したという状態になりました。

少子高齢化も進む中で、震災の後は転出増ばかりで、いわゆる社会減が進んでいたところ、何とか落ち着きを取り戻して社会増になっていきましたけれども、自然減が、我孫子で生まれる子どもたちは700人ちょっと、我孫子で亡くなる方が1,300人を超えるという中で、どうしてもこの人口減少が止まらないという状況です。いくら我孫子に引っ越してきてもらえるように努力をしても、それ以上に亡くなる方のほうが多いという状況がずっと続いているところでは。

やはり日本全体が人口減少という状況の中で、今は人の取り合いであって、生まれてくる子どもたちを考えても、そう簡単に人口増というわけにはいかない現状になっています。ましてや2年前からのコロナの影響を受けて、経済も非常に厳しい状況になってきている中では、良い手というのがなかなか難しいという認識をしています。

その中で、我孫子の特長としては非常に長い間、東京のベッドタウンとして、住宅都市として発展してきた、その大きなポイントには手賀沼、利根川という水辺があって、緑豊かな地域であって、東京にも非常に近い、交通アクセスの良い場所というところも踏まえながら、これからは基本的には水辺と自然を生かした住宅都市として発展していけるということを基本に考えていく必要があると考えています。

我孫子には昔からの様々な歴史・伝統・文化があり、これを活かしていくことが非常に大切になるだろうし、その中でも、やっぱり職住近接というキーワードも含めながら、我孫子市内での仕事を確保する、あるいは我孫子の周辺での仕事も含めて、周辺の地域との連携は非常に大きな力になってくるという認識をしています。

昨年度決定していただいた「未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」に向けてしっかりと取り組んでいけるように、このキーワードを大切にしていきながら、これからも取組を着実に進めていく必要があるという認識をしておりますので、様々なご意見をこれからもいただければありがたいと思っています。

○事務局

市長ありがとうございます。

それでは、続きまして、次第に沿って市長との意見交換に移ります。

(意見交換)

○事務局

それでは、以上をもちまして、第16回総合計画審議会を閉会させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。